

環境基本計画

1 環境基本計画の概要

環境基本計画では、本市の目指すべき環境像「人と自然がきらめく美しいまち ふるさと“ひかり”」の実現を目指して、「自然を愛する」、「地域を愛する」、「地球を愛する」の3つを基本方針として掲げ、「自然環境保全推進プロジェクト」、「美しいまち推進プロジェクト」、「もったいない文化推進プロジェクト」、「ストップ地球温暖化推進プロジェクト」の4つを本計画の主導的役割を果たす主要事業（リーディングプロジェクト）として位置付けました。

リーディングプロジェクトには、まちづくりの基本理念である市民・事業者との「共創・協働」に加え、「学習・体験」、「環境と健康、観光、経済の融合」の視点を取り入れています。

計画の期間は、平成20年度（2008年度）を初年度とし、平成24年度（2012年度）を目標年度とする5年計画です。また、本計画の対象となる主体は、市民・事業者・市で、市民にはNPO等市民団体、光市への通勤・通学者及び滞在者を含みます。本計画の対象範囲は、自然環境、生活環境、文化環境など日常環境から、地球規模の環境まですべてを対象としています。

2 環境基本計画の進捗状況

リーディングプロジェクトの5年間の主な取組み状況及び指標の達成状況については、次のとおりです。

(1) 自然環境保全推進プロジェクト

① 主な取組み状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況
里山再生プロジェクト	里山の保全、創造、再生 ／水産林業課	<p>繁茂拡大した竹の伐採及び再生竹の除去を実施。</p> <p>H20 1カ所 1.0ha H21 4カ所 13.0ha H22 2カ所 6.6ha H23 3カ所 9.2ha H24 2カ所 8.8ha</p>
市民と協働による森林づくり	美しい森林を次世代に引き継ぐ ／水産林業課・公園緑地課	<p>市有林の造林事業として、広葉樹（ヤマザクラ）の植栽を実施。</p> <p>H20 1.0ha H21 1.0ha H22 1.0ha H23 0.7ha H24 1.15ha</p>
伊藤公の森整備	協働による伊藤公の森の再生 ／水産林業課	竹繁茂地の伐採や広葉樹（ヤマザクラ）の植栽、遊歩道の整備などを実施。
どんぐりランドの運営	どんぐりの森を自ら育てる ／水産林業課	「どんぐり・まつぼっくり教室」を開催し、森の話や自然観察を行うとともに、

		<p>どんぐりの森整備として種まき及び植栽体験を行い、参加者に自然の大切さについての啓発を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どんぐりまつぼっくり教室」参加者 H20 58人（19家族） H21 インフルエンザ蔓延のため中止 H22 36人（14家族） H23 23人（9家族） H24 38人（14家族） ・「どんぐりの森（苗木の植栽）」参加者 H22 11人（4家族）
ひかり名木百選の指定	代表的な巨木や名木の指定 ／公園緑地課	市内122本の樹木をひかり名木百選に決定し、「ひかり名木百選」の冊子の作成と標識を設置。
自然環境保全地域の指定	地域指定による自然環境の保全 ／環境政策課	原生自然環境保全地域3カ所、自然環境保全地域3カ所を指定し、標識の設置及びマップを作成。
河川再生プロジェクト	協働による保全活動の推進 ／道路河川課・環境政策課	<p>川とのふれあい、水環境の大切さを学ぶ「親と子の水辺の教室」、「島田川エコデザイン事業」を開催。また、エコフェスタでは、島田川の大切さと川の保全の大切さをPR。さらに、下水道未整備地区の自治会を対象に生活排水浄化対策実践活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親と子の水辺の教室」参加者 H20 100人 H21 101人 H22 63人 H23 60人 H24 88人 ・「島田川エコデザイン事業」参加者 H20 40人 H21 エコフェスタにおけるコーナー設置 H22 128人 H23 107人 H24 65人
白砂青松10万本大作戦	松の植栽による海岸松林の整備 ／水産林業課	室積海岸及び虹ヶ浜海岸において、市民との協働による黒松植樹を実施。また、密集地の間伐及び松の戸籍銘板設置を実施。

		<ul style="list-style-type: none"> ・クロマツ植栽本数 H20 3,500本 H21 1,450本 H22 1,030本 H23 400本 H24 700本
自然海岸清掃活動	クサフグ産卵地の清掃活動 ／文化・生涯学習課	中学生リーダーやボランティアを中心にゴミ拾いや草刈りなど、クサフグ産卵地の海岸清掃活動を実施。
循環型農業の推進	減農薬等による環境負荷の低減 ／農業耕地課	<p>減農薬、減化学肥料による栽培を促進するとともに「エコファーマー」認定者の増員や品目の増加を促進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコファーマー新規認定者 H20 2人 H21 1人 H22 2人 H23 2人 H24 2人
環境・健康ウォーク	歩きながら自然とふれあう ／体育課・健康増進課・環境政策課	<p>市民ボランティア及び3課の協働により「ひかり環境・健康ウォーキングマップ」及びコースごとのリーフレットを作成。また、マップを活用した「ひかりふるさとウォーク」を実施。さらに、「光のあるくロードウォーキングラリー」事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひかりふるさとウォーク」参加者 H20 329人 H21 245人 H22 237人 H23 156人 H24 187人 ・「光のあるくロードウォーキングラリー」登録者（累計） H20 382人 H21 497人 H22 567人 H23 607人 H24 619人

環境マップの作成、活用	環境学習教材として活用 ／環境政策課	「ひかり環境・健康ウォーキングマップ」の活用及び「ひかりふるさとウォーク」の開催。(再掲)
-------------	-----------------------	---

②指標の達成状況

項目	策定時① (H19)	近況値② (H24)	目標値③ (H24)	達成率 ②/③ ×100
森・川・海など自然とふれあっている人の割合	16.1%	15.2%	20.0%	76.0%
動物や植物の観察や保護活動をしている人の割合	2.5%	1.6%	10.0%	16.0%
自然とのふれあいの機会の多さに関する満足度	24.5%	23.2%	30.0%	77.3%

(2) 美しいまち推進プロジェクト

①主な取組み状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況
犬の飼い方教室	マナー教室 ／環境政策課	動物愛護月間に合わせ、飼い主のマナーアップのための研修会を実施。 ・「犬の飼い方教室」参加者 H20 43人 H21 51人 H22 31人 H23 25人 H24 25人
環境美化ボランティア・サポート事業	市民参加による地域の環境美化、保全活動の推進 ／地域づくり推進課	身近な道路や公園を地域で管理する団体を募集し、市民参加による環境の美化や保全活動の拡大を推進。 ・加入団体 (H19 までに3団体加入) H20 2団体 H21 2団体 H22 3団体 H23 1団体 H24 1団体
クリーン光大作戦	市民と協働による清掃活動 ／文化・生涯学習課	青少年の社会参加活動の促進を図りながら河川・海岸及び自治会内道路等の清掃活動を全市的に実施。 ・「クリーン光大作戦」参加者 H20 20,682人 H21 20,064人 H22 18,795人

		H23 20,553人 H24 17,381人
神籠石散策道等の整備	文化財周辺の清掃と環境整備 ／文化・生涯学習課	石城山神籠石散策道周辺の支障木の伐採や草刈り、石垣の清掃を実施。また、ボランティア団体による散策道及び周辺の美化・整備活動を実施。
緑花ボランティア	知識を有するボランティアの育成 ／水産林業課	緑化活動や研修会を実施し、市民の自主活動による花と緑の保全活動を推進。 H20 研修会3回、緑化活動6回 H21 研修会1回、緑化活動10回 H22 自主運営へ移行
★緑化協定制度	緑につつまれたまちづくりの推進 ／公園緑地課	制度に関する周知不足等により、緑化協定の締結申し出がなかったため未実施。
休耕田の再生・活用	景観形成作物の栽培 ／農業耕地課・環境政策課	中山間地域等直接支払制度における農地の管理活動などで、休耕田を活用した景観形成作物の栽培を推進。

★：未実施事業

②指標の達成状況

項目	策定時① (H19)	近況値② (H24)	目標値③ (H24)	達成率 ②/③ ×100
地域で花木を植える緑化活動に参加している人の割合	4.2%	4.4%	10.0%	44.0%
地域での環境美化活動に参加している人の割合	51.1%	48.0%	60.0%	80.0%
まちの清潔さに関する満足度	6.1%	9.5%	10.0%	95.0%

(3) もったいない文化推進プロジェクト

①主な取組み状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況
ふろしきの普及	ふろしき利用の拡大 ／環境政策課	地球環境に負荷をかけないライフスタイルを普及させることを目的に、ふろしきをもったいないのシンボルとして活用。光市オリジナルもったいないふろしきを作成・販売。ふろしきセミナーやもったいないふろしき展を開催するなど普及啓発を実施。 ・「ふろしきセミナー」参加者

		<p>H20 305人</p> <p>H21 282人</p> <p>H22 79人</p> <p>H23 205人</p> <p>・「もったいないふろしき」作成枚数</p> <p>H20 200枚(あい)</p> <p>H21 300枚(あい・もえぎ)</p> <p>H22 500枚(もえぎ・きらめき)</p> <p>H23 2,400枚(雅・和・薫)</p> <p>※国体使用枚数含む</p> <p>H24 400枚(梅・松)</p>
「もったいない事例」の集約	<p>もったいないの取組みの募集とPR</p> <p>／環境政策課</p>	<p>もったいない事例を市民から募集し、活用する事業としてホームページ上に「もったいない貯金箱」を設置。平成23年度にももったいない大賞を実施し、3部門における優秀アイデアを表彰。</p>
食育の推進	<p>食育による食品残渣の減量化</p> <p>／学校教育課</p>	<p>児童生徒の食に対する関心・意欲の高揚のため、食育アンケートの実施や給食試食会、食育シンポジウム、給食残渣減量キャンペーンを実施。</p> <p>・学校給食残量率</p> <p>H22 5.1%</p> <p>H23 4.5%</p> <p>H24 4.2%</p>
生ごみリサイクルの推進	<p>堆肥化による生ごみの減量</p> <p>／環境事業課</p>	<p>生ごみ減量啓発パンフレットの作成・配布や、家庭用生ごみ処理機購入補助を実施。また、市快適環境づくり推進協議会と連携し、段ボールコンポストの販売を実施。</p> <p>・電動生ごみ処理機補助件数</p> <p>H20 38件</p> <p>H21 33件</p> <p>H22 28件</p> <p>H23 13件</p> <p>H24 13件</p> <p>・段ボールコンポスト補助件数</p> <p>H21 186件</p> <p>H22 365件</p> <p>H23 196件</p> <p>H24 129件</p>
紙製容器包装類のリサイクル	<p>紙製容器包装類の資源化</p> <p>／環境事業課</p>	<p>保育園、幼稚園、小中学校に回収ボックスを設置し、取組みを推進。</p>

エコショップ認定制度	店舗の認定とPR ／環境事業課	平成22年度に制度を開始し、市内店舗の認定とともに制度の啓発活動を実施。 ・エコショップ認定店数 H22 9店舗 H23 9店舗 H24 9店舗
不用品交換システムの充実	市民が主体のシステムの構築 ／環境事業課	平成22年度にリユースネットひかり事業を開始し、市民への周知とともに利用促進の向上への取組みを実施。 ・リユースネットひかり利用 H22 譲りたい登録81、成立48 譲ってほしい登録76、成立11 H23 譲りたい登録101、成立70 譲ってほしい登録60、成立22 H24 譲りたい登録72、成立47 譲ってほしい登録30、成立10

②指標の達成状況

項目	策定時① (H19)	近況値② (H24)	目標値③ (H24)	達成率 ②/③ ×100
使い捨て製品の購入を控えている人の割合	28.3%	28.2%	35.0%	80.5%
買い物袋を持参している人の割合	40.0%	90.2%	45.0%	200.0%
不用品バザーやフリーマーケットに参加している人の割合	11.8%	6.6%	15.0%	44.0%

(4) ストップ地球温暖化推進プロジェクト

①主な取組み状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況
緑のカーテンの普及	つる性植物による日蔭の創出 ／環境政策課	省エネルギーや環境意識の向上を推進するため、市施設や市立小・中学校全校に緑のカーテンを設置。また、市民に普及を図るため緑のカーテン設置講習会やコンテストを実施。
光熱水費削減プログラム	学校のエネルギー使用量の削減 ／環境政策課	光熱水費の削減への取組みを促すフィフティフィフティ事業を市立小・中学校全校において実施。 第1期 (H20.10~21.9) 5校削減 第2期 (H21.10~22.9) 5校削減 第3期 (H22.10~23.9) 5校削減
地産地消の推進	食品輸送に係るエネルギー削減	食品輸送に係るエネルギー削減を図るため、パイロットショップ、里の厨の運営に

	減 ／農業耕地課	よる地産地消を推進。
★菜の花プロジェクト	採油用植物の栽培 ／環境政策課・農業耕地課	遊休農地や休耕田の有効利用や農地の多面的機能の向上として期待されているが、農業者の高齢化、輸入品に比べ割高等の課題があり未実施。
太陽光発電システムの普及	太陽光発電システムの導入拡大 ／環境政策課	平成 21 年度から住宅用太陽光発電システム設置費補助事業を実施。市立小・中学校 4 校へ太陽光発電システムを設置。 ・住宅用太陽光発電システム補助件数 H21 80 件 H22 146 件 H23 159 件 H24 104 件
★廃油再生事業	廃油による石油代替燃料の製造 ／環境政策課	効率的な廃油回収システム及びBDFの地域内利活用の確立に向け検討してきたが、十分な廃油の回収量や需要が見込めないなどの課題があり未実施。
地球温暖化対策地域協議会	協働での温暖化防止活動推進 ／環境政策課	平成 20 年度に光市地球温暖化対策地域協議会を設立。講演会や緑のカーテンコンテストの実施、ひかりエコフェスタへの協力など、地球温暖化対策への取組みを推進。

★：未実施事業

②指標の達成状況

項目	策定時① (H19)	近況値② (H24)	目標値③ (H24)	達成率 ②/③ ×100
家庭で花や木などの緑を育てている人の割合	56.2%	49.1%	65.0%	75.5%
環境家庭簿をつけている人の割合	3.1%	2.0%	10.0%	20.0%
省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度	2.9%	4.7%	10.0%	47.0%